

行きたい旅先北陸10位

都民調査 国内12地域対象

北陸経済研究所(富山市)は、東京都民を対象に行った国内旅行に関するアンケート調査結果をまとめた。北陸は首都圏を除く全国12地域のうち、「過去3年間に訪れた旅行先」で11位、「今後3年間で最も行きたい旅行先」で10位と低い結果だった。来春の北陸新幹線開業を見据え、県は首都圏に狙いを定めた誘客戦略に力を入れている。



調査は2013年11月、東京在住の20歳以上の男女1030人を対象にインターネットで行った。「過去3年間に訪れた旅行先」では、1人当たりの平均旅行回数は、富士山周辺の1・49回をトップに北関東1・36回、関西1・2回と続き、北陸は0・28回で、沖縄や四国と同水準だった。

◆今後3年間で最も行きたい旅行先

順位	地域	構成比(%)
1	北海道	33.1
2	沖縄	25.4
3	九州	8.7
4	関西	7.5
5	東北	5.3
6	富士山周辺	4.1
7	信越	3.0
7	四国	3.0
9	北関東	2.7
10	北陸	2.5
11	中国地方	2.4
12	東海	2.1

一方、「今後3年間で最も行きたい場所」は、1位が北海道、2位が沖縄、3位が九州で、北陸は10位だった。

「旅行目的は、「おいしい食べ物を楽しむ」が1位で、「自然・景観を楽しむ」、「温泉や旅館でゆっくりと過ごす」、「名所・旧跡を楽しむ」などと続いた。

一方、今年5月下旬に東京駅のJR東日本びゅうプラザとJR東海ツアーーズの2か所に置かれていた旅行パンフレットやチラシを調べたところ、東北(44点)が首位で、関西(38点)、信越(35点)と続き、北陸は9点で全体のわずか3%だった。

県知名度向上に躍起

首都圏CM、東京駅PR

県は、首都圏での知名度を上げようとPRに躍起となっている。

では、射水市出身の落語家立川志の輔さんが出演する県のCMをスクリーンで流

石井知事は「首都圏の人が観光地として富山を選んでくれるよう、切れ目なく施策に取り組みたい」と意気込んでいる。

同研究所地域開発調査部の倉嶋英二担当部長は「北陸の温泉や名所旧跡などは首都圏での露出度が低い。北陸新幹線の開業で行きやすさは改善されるため、可能性は大きい。観光地としての北陸のイメージを浸透させるプロモーション戦略が求められる」と話す。

9月以降は、鉄道博物館(さいたま市)で富山の鉄軌道をテーマにした企画展、東京都内で企業立地セミナーなど分野を絞ったイベントなどを展開する。来春の開業直前には、東京駅前の商業施設「KITTE」で大規模な県PRイベントを開き、豊かな自然や食文化をアピールする。

CMは4~5月、首都圏の民放テレビ局でも放映し、県は1000万人以上が視聴したと推計している。10月から12月には首都圏でミニ番組を週1回放映する。